

◆株式会社北陸銀行

|                  |  |
|------------------|--|
| 事業内容             | 銀行業  |
| 所在地              | 本店:富山県富山市 その他事業所:国内 186 か所、海外 3 か所   |
| 従業員数             | 2,546 人 (2007 年 3 月末現在)  |
| 主な制度・<br>取組状況    | <p>➤ ワーク・ライフ・バランス推進に向け、2007 年 7 月に、スローガン『北陸銀行 Better Work, Better Life 宣言』の元、育児休業制度等の拡充を以下の通り実施した。</p> <p>①育児休業：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・休業期間の当初 3 日間を有給扱いとした</li> <li>・自己都合での休業期間の半年間延長を可能とした（延長要件の撤廃）</li> <li>・育児短時間勤務制度（1 日当り最大 2 時間を短縮可能）を新設した</li> <li>・育児時差出勤制度の対象を、満 3 歳到達までから、小学校就学までとした</li> <li>・看護休暇として、小学校就学までの年間 5 日に加え、中学校就学までの間も年間 3 日を、有給扱いで取得可とした</li> </ul> <p>②有給休暇取得促進：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・半日休暇制度を導入した</li> </ul> <p>③他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・以上は全て、行員だけではなく、嘱託にも適用することとした</li> </ul> <p>➤ メンタルヘルスセミナーを実施中。臨床心理士（大学院教授）の講義を、2006 年 4 月より全店のマネジメント層（副支店長クラス以上）が悉皆受講。現在は支店長補佐（課長クラス）以下が順次受講している。</p> <p>➤ 家族手当を子 1 人につき月 10,000 円支給。35～49 歳の世代には、更に 1 人当り 2,000 円を加算支給。</p> <p>➤ ホームヘルパー利用料金一部補助として 1 日 4,000 円を最長 5 日分まで支給。</p> |
| マネジメント<br>について   | <p>➤ ワーク・ライフ・バランス推進の背景は、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①従業員が活力に満ちた生活をおくれるよう職場環境・風土を整えることで、従業員満足度を高め、モチベーション・仕事の質の向上を図り、顧客サービスをより良いものとしていくこと</li> <li>②人材確保の重要性が高まっていること</li> <li>③社会環境（少子高齢化・労働力人口減少）や、法制、国・県等のスタンスも踏まえ、CSR への取組みを強化すること</li> </ol> <p>➤ 制度の考え方や詳細については、『北陸銀行 Better Work, Better Life 宣言』に関する通達を通じて全行員に周知・徹底。また、労使による専門検討委員会として「ワーク・ライフ・バランス検討委員会」を結成。</p> <p>➤ 時間外労働削減に向けては、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①マネジメント・タスクフォース（支店長経験者による労務管理中心の臨店指導）を全店で実施</li> <li>②メリハリのある時間外運営に向け、早帰り日・週・月を設定</li> <li>③労使による専門検討委員会として「時間管理専門委員会」を継続開催中</li> </ol> <p>➤ 業務効率化に向け、以下を実施中。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①全店アンケートの実施や特定店への臨店を通じた支店ニーズの把握</li> <li>②大量・集中処理に馴染む営業店事務を、本部へ集中化</li> <li>③BPR（スタンディングオペレーションの導入など）</li> </ol>                                       |
| コスト・メリット<br>について | <p>➤ ワーク・ライフ・バランス制度構築のための人件費は約 50 万円（担当者が 2 週間程度専従＋上司によるチェックに要した人件費の概算）。</p>   |